

## 肌で感じる、鬼北町の歴史

◎泉小学校児童体験学習

初めて弥生土器を手にした児童



5月30日、泉地区にある興野々寺山遺跡と高嶋神社で、泉小学校6年生の社会科の授業が行われました。

弥生時代にタイムスリップしたかのような風景が広がる寺山遺跡や、癒しの森の再生を目指す高嶋神社。それぞれの地を訪れた児童たちは、鬼北町教育委員会幡上主任の、ユーモラスでわかりやすい説明に、時折メモを取りながら、聞き入っていました。

また、寺山遺跡に復元されている竪穴式住居に、恐る恐る足を踏み入れた児童たちは「涼しい」「意外と広い」と、想像と違う屋内の構造に、驚きの表情を見せていました。

## ともに汗を流し、交流深まる

◎第12回ふれあいレクバレー大会

行け！渾身の一撃



5月29日、日吉農林業トレーニングセンターで、「第12回ふれあいレクバレー大会」が行われました。

和気あいあいとした空気が流れている会場ですが、試合が始まると一変します。選手たちの目は、真剣そのもの。コートでは、華麗なプレーが繰り広げられていました。

町内から8チームが出場した本大会。その中には、今大会限定で作られたチームもあり、バレーボールを通じた絆の輪が、また一つそこに生まれていました。

主な結果は次の通りです。

①クッキーズ②かじかクラブ

## 一粒一粒に感謝。農業の尊さ実感

◎ふれあい農園事業 古代米田植え

音頭をとる弥生人に扮した行定校長



6月8日、泉小学校横の田んぼで、泉小学校全校児童36人による田植え体験が行われました。

毎年、子どもも大人も楽しみにしている恒例行事の田植え。老人クラブや農業公社の手を借りながら、昔ながらの手法で、古代米の田植えを行いました。児童たちは、泥に足を取られ、悪戦苦闘しながらも、おいしいお米が育つように願いを込めて、一つ一つ丁寧に植えていきました。

田植えを終えた児童たちは、「上手に植えることができて、よかった」と達成感に満ち溢れ、秋頃行われる収穫体験を心待ちにしています。

## 団結した思いやりの心がそこに…

◎こでまり会、乳児院にエプロン贈呈

子どもたちの喜ぶ姿に、会員も大満足



6月2日、近永公民館和室で、こでまり会（会長・上本啓子）から近永乳児院へ、エプロン36枚と、敷布団カパー10枚が贈呈されました。

6月1・2日の2日間に渡り、会員たちは子どもたちの喜ぶ姿を想像しながら、一つ一つ丁寧に製作。その温かい思いがたくさん詰まったエプロンを受け取った子どもたちは、とても嬉しそうに身にまとい、満面の笑みを浮かべていました。

会員たちは、「会員の高齢化が進み大変な面もあるけれど、絶やさずにこの活動を続けていきたい」と、目を輝かせ、意気込んでいました。